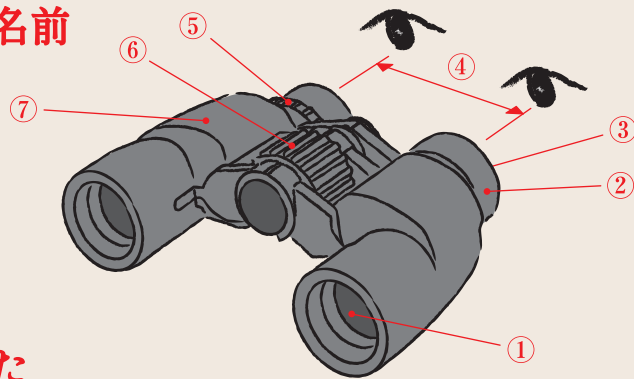


各部の名前



- ① …… 対物レンズ
- ② …… 繰り出し式目当て
- ③ …… 接眼レンズ（のぞくところ）
- ④ …… 眼幅
- ⑤ …… 視度調整リング
- ⑥ …… ピント合わせリング
- ⑦ …… ボディ

警告

太陽を見てはいけません
失明の危険があります

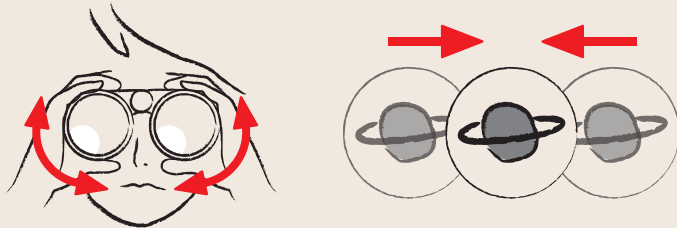
使いかた

1



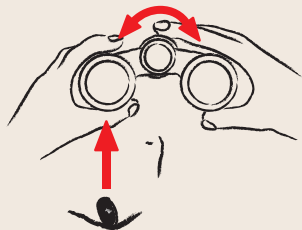
レンズのキャップをはずして
繰り出し式目当てを繰り出します。
メガネをかけたままのぞくときは
目当てを出さずにのぞいてください。

2



両目でのぞきながらボディを静かに開閉し
目の幅と接眼レンズの幅を合わせます。
左右の視野が重なって
ひとつの円になったらOKです。

3

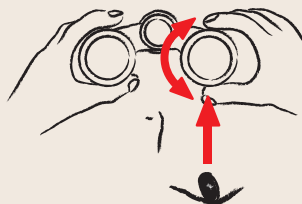


左目だけのぞきながら
「ピント合わせリング」を回して
目標物にピントを合わせます。
次に、右目だけで同じ目標物を見ながら
「視度調整リング」を回して
目標物にピントを合わせます。

Point 1 手ブレを解決

双眼鏡は、両手でしっかりと持ちましょう。
近くの壁や手すりに腕を固定しましょう。
固定できるものがないときは、脇を閉めて
体にぴったりくっつけて固定します。

4



目標物を変えて見るときは
「ピント合わせリング」のみ
回してピントを合わせます。

Point 2 捉えかたのコツ

まずは目で探します。見つけたら目を離さないで、見た
い方向に体を向けて、まっすぐ双眼鏡を持ちます。目線
をそらさないように、双眼鏡を目の前に持ってくると…
「あっ、見えた」

北斗七星を見つけよう

Wの形が特徴的なカシオペア座。
Wの両端の線を交わるように延ば
して、★Cまでの距離を5倍したと
ころに北極星があります。

カシオペア座

この長さの5倍



北斗七星

この長さの5倍

ひしゃくの形をしている北斗七星
（おおぐま座）。★Aと★Bの距離を5倍
にしたところが北斗七星があります。

2つの星座のうちどちらかは季節を問わず見えているので、
基本の目印として探してみてください。北極星が見つかったら
その方向が北です。あとは星座早見盤などで、どこにどんな星
が見えるのか調べて、星空散歩に出かけてみましょう。